

5月中旬なのに、もう夏の昆虫たちが登場！

まだ5月の中旬ですが、夕方、校舎の隅にいる甲虫を生徒が見つけてくれました。生物ことならやはり専門家に聞くのが一番ということで、理科の先生方に見てもらったところ、ナント！昆虫の王様、クワガタでした。クワガタの代名詞の「クワ」がないので、胸部のデカリヤ、上翅の筋模様など特徴から、どうやら「コクワガタのめす」ではないかとの判定でした。

クワガタといえば夏の昆虫ですが、確かに今年は季節の動きが早く、まだ5月の中旬なのに、夏日（最高気温が25℃以上の日）が続き真夏日（最高気温が30℃以上の日）も観測され、気候はもうすっかり夏。夏の虫たちも、一足早く出てきてしまったようです。このクワガタも、出てきたばかりのようで、頭に蜘蛛の巣絡めていました。



2023,5,15 清瀬市

●コクワガタ コウチュウ目 クワガタムシ科 オオクワガタ属 コクワガタ亜属

オオクワガタ属で、体は平たく大きさは、雌で20～30mm、雄で30～50mmの中型の種類で、北海道から九州まで広く分布している普通種の良く見かけるクワガタです。クヌギ・コナラなどの雑木林に生息していて、人の生活圏に近く、街灯や家の灯りに飛んできて、見かけます。清瀬で捕まるクワガタの多くは、ノコギリクワガタか、コクワガタですね。ですから、体が平たくて、鋏が細長いのがコクワガタ、体が細長いのがノコギリクワガタ（鋏の部分の形や大きさは、個体差が大きいです。）と覚え、良く見慣れておいて、ちょっと違うかな？ と思ったら、別の種類の可能性がありますね。

似た種類に、同じコクワガタ亜属のスジクワガタがありますが、雄の場合は、鋏の部分に、刃（内歯：内側の突起の部分）が、左右1対なので分かります。スジクワガタは2つの刃がつながっていて斧状です。メスの場合は似ていて区別は難しいですが、比べると、「胸部の光沢」が強く、「上翅（硬いのはね）にある縦縞が平行」なのがコクワガタです。雄は鋏の形が違うので区別しやすいですが、それでも小型のものだと、刃の部分がなかったりします。雌は比べるとわかりやすですが、見慣れないと難しいです。



(写真：大日本図書 デジタルデータバンク おおきくなあれ)

<https://www.dainippon-tosho.co.jp/yagi/>